広報 みなと 2.21
平成22年（2010年）
財政課 ☎3578-2111（代）
内線 2101
FAX 3578-2975（財政課）
http://www.city.minato.tokyo.jp
平成22年度予算特集号

平成22年度予算案が決まりました

港区長　武井雅昭

平成22年度予算案は、景気の状況が依然として厳しい中、国の政策転換の動きや地方主権への取組みなど、港区を取り巻く環境の変化を見据え、区の現状と将来を展望し検討を重ねた上でまとめました。

予算総額は、1,433億7,141万円となりました。

本予算案は、2月24日(水)から開会する平成22年第1回港区議会定例会で審議されます。

平成22年度予算では、景気後退の影響を受け区の歳入の根幹をなす特別区民税が減収になると見込みました。区はこれまで、このような厳しい状況においても港区ならではの質の高い行政サービスを安定的に提供できるよう、簡素で効率的な財政運営を行い、計画的に基金を積み立てるなど財政の力を蓄えてきました。

私は、その財政の力を活用し、区民福祉の更なる向上をめざして、地域経済への支援や緊急就労支援をはじめ、区民の安全安心を確保するための様々な施策を積極的に推進するため、平成22年度予算を「地域の元気と区民生活の安心をより確かなものにするための予算」として編成しました。

今後も、人にやさしい創造的な地域社会をめざし、「区民の誰もが誇りに思えるまち・港区」の実現に向け、区民の皆さんの期待に応えるよう努めてまいります。

予算編成にあたって

区の現在の財政状況は、人口の増加に伴う特別区民税収入の増や、他の自治体に先駆けて実施してきた財政健全化の取組みなどにより、経常収支比率や財政健全化法に基づく健全化判断比率などの各財政指標は良好な数値を示しており、健全な状況を維持しています。

区の歳入の根幹をなす特別区民税収入については、国の三位一体改革に伴い減収となった平成19年度を除き、11年度以降は、人口増に伴う納税義務者数の増等により増収を続けてきました。

しかしながら、平成22年度予算における特別区民税収入は、景気後退の影響を受け、21年度当初予算と比較し、35億円、5.6%の減収になると見込んでいます。

区は、いかなる社会経済情勢においても、安定的に港区ならではの質の高い行政サービスを提供していくため、これまで、人件費の圧縮や経常経費の節減など不断の行財政改革に取り組むことにより、計画的に基金を積み立ててきました。

22年度予算においては、これまで蓄えてきた基金を有効に活用し、未来を担う子どもたちのための施設整備などを推進するとともに、バブル経済崩壊後の財政危機以来13年ぶりに財政調整基金を活用することにより、特別区民税収入の減収等による財源不足を補い、区民福祉の向上のための様々な施策に積極的に取り組んでいきます。

一方、今後も、引き続き歳入の確保に努めるとともに、内部努力を徹底し、簡素で効率的な区政運営を行い、将来世代に過度な負担を残さない長期的視点に立った財政運営を行うことで、磐石な財政基盤を維持していきます。

平成22年度予算は、「地域の元気と区民生活の安心をより確かなものにするための予算」として、「安全で安心に暮らせるまち」、「生涯を通じて健やかにすごせるまち」、「都心の魅力があふれるまち」を最重点施策として掲げ、編成しました。

各会計の説明

一般会計

予算総額(表)は、1,085億2,000万円で、前年度に比べ238億900万円、18.0%の減少となります。

〈歳入〉

特別区税は、景気後退の影響を受けて、前年度に比べ、5.6%の減となりました。繰入金は、公共施設等整備基金繰入金及び教育施設整備基金繰入金の減などにより大幅な減となりました。国庫支出金及び都支出金は、子ども手当の支給に伴う交付金の増などにより増となりました。

〈歳出〉

総務費は、電子自治体推進、田町駅東口北地区公共公益施設整備の増などにより5億1,000万円、2.3%の増となりました。民生費は、麻布地区子ども中高生プラザ等用地購入、仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備の減などにより94億円、20.2%の減となりました。衛生費は、みなと保健所改築の減などにより7億1,000万円、14.0%の減となりました。産業経済費は、融資事業、にぎわい商店街事業の増などにより11億円、56.6%の増となりました。土木費は、市街地再開発事業支援、都市計画道路補助7号線整備の減などにより20億円、12.2%の減となりました。教育費は、小・中学校校舎整備の減などにより135億円、44.1%の減となりました。

国民健康保険事業会計

予算総額(表)は、保険給付費などが増加する一方、共同事業拠出金などが減少したため、前年度に比べ7億2,375万1,000円、3.6%減少し、195億3,399万4,000円となります。

老人保健医療会計

予算総額(表)は、前年度に比べ1億9,003万4,000円、83.0%減少し、3,891万4,000円となります。

なお、老人保健医療会計については、22年度をもって清算処理が終了し廃止となります。

後期高齢者医療会計

予算総額(表)は、広域連合負担金が増加したため、前年度に比べ9,593万4,000円、2.5%増加し、39億8,861万3,000円となります。

介護保険会計

予算総額(表)は、第4期介護保険事業計画における保険給付費の推計などにより、前年度に比べ5億9,558万円、5.6%増加し、112億8,988万8,000円となります。

図1　平成22年度予算の概要(全体像)

「地域の元気と区民生活の安心をより確かなものにするための予算」

予算編成の基本方針

1. 区民の参画と協働の取組みをより一層定着・発展させ、各種事業について、区民一人ひとりのライフステージに応じたきめ細かなサービスとなるよう、区民生活の実情を的確に把握し、区民の視点に立って創意工夫するとともに、区民生活のすみずみまで目の行き届いた、都心・港区ならではの質の高い行政サービスを提供します。
2. 新規事業については、事業の必要性・効果性・効率性を見極め、中期的な事業目標を立てた上で予算化します。また、すべての既存事業について、根本に立ち返りあらためて必要性・効果性・効率性の観点から徹底した見直しを進めます。
3. 港区基本計画(分野別計画及び地区版計画書)に計上する事業を効果的かつ着実に推進できるよう予算化します。
4. 区民の安全・安心の確保を最優先事項とし、区有施設や各種行政サービスの安全・安心の確保策に引き続き取組みます。
5. 今後のいかなる社会経済状況の変化にも柔軟に対応し、港区ならではの施策を継続して推進していくため、「最少の経費で最大の効果」の基本原則を踏まえ、後年度負担にも十分配慮するとともに、人件費の圧縮、経常的経費の節減などの不断の内部努力を徹底します。

港区基本計画事業の着実な実施

分野別計画	◆かがやくまち(街づくり・環境)	34事業	62億1,467万円
	◆にぎわうまち(コミュニティ・産業)	7事業	9億6,514万円
	◆はぐくむまち(福祉・保健・教育)	32事業	107億6,791万円
地区版計画書	芝地区版計画書	11事業	5,202万円
	麻布地区版計画書	12事業	4,774万円
	赤坂地区版計画書	6事業	5,287万円
	高輪地区版計画書	11事業	5,035万円
	芝浦港南地区版計画書	9事業	4,612万円
	◆実現をめざして	6事業	4億　754万円
計		128事業	186億　435万円

将来を見据えた財政運営

厳しい社会経済情勢が続く中、21年度に続き、これまで蓄えてきた財政の力を活用して、緊急就労支援や区民の安全安心確保のための施策をはじめ、高齢者施策や子育て支援、環境対策などに取り組み、区民福祉の向上のための施策を積極的に推進します。

一方、先行き不透明な社会経済情勢を踏まえ、すべての事務事業について、根本に立ち返り徹底した見直しを実施するとともに、人件費の圧縮や経常経費の節減などに積極的に取り組み、施設建設にあたっては、後年度負担にも十分配慮するなど、内部努力を徹底しました。

今後も、引き続き歳入の確保に努めるとともに、簡素で効率的な区政運営を行い、将来世代に過度な負担を残さない長期的視点に立った財政運営を行うことで、磐石な財政基盤を維持していきます。

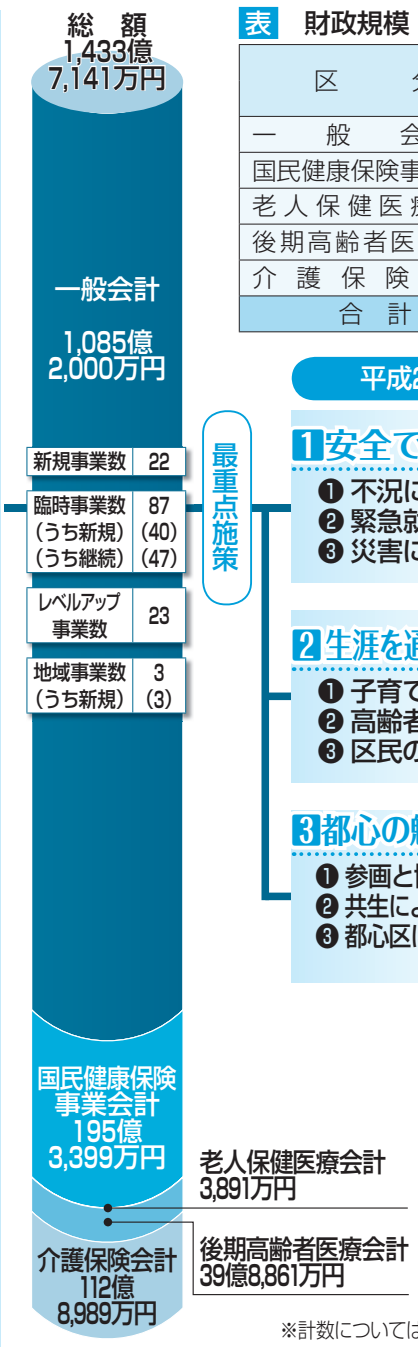


表　財政規模

(単位:千円、%)

区分	22年度 当初予算額	22年度 構成比	21年度 当初予算額	21年度 構成比	対前年度比較 増減額	対前年度比較 増減率
一般会計	108,520,000	75.7	132,329,000	79.0	△ 23,809,000	△ 18.0
国民健康保険事業会計	19,533,994	13.6	20,257,745	12.1	△ 723,751	△ 3.6
老人保健医療会計	38,914	0.0	228,948	0.1	△ 190,034	△ 83.0
後期高齢者医療会計	3,988,613	2.8	3,892,679	2.3	95,934	2.5
介護保険会計	11,289,888	7.9	10,694,305	6.4	595,583	5.6
合計	143,371,409	100.0	167,402,677	100.0	△ 24,031,268	△ 14.4

平成22年度予算のポイント

1 安全で安心に暮らせるまち

❶ 不況に負けない地域経済の支援
❷ 緊急就労支援の充実
❸ 災害に強い良質なまちづくり

2 生涯を通じて健やかにすごせるまち

❶ 子育て支援と教育環境の充実
❷ 高齢者や障害者の生活環境の充実
❸ 区民の元気と健康の増進

3 都心の魅力があふれるまち

❶ 参画と協働による地域の活性化
❷ 共生による新たな地域文化や魅力の創出
❸ 都心区における先進的な環境対策の推進

図2　一般会計歳入予算額

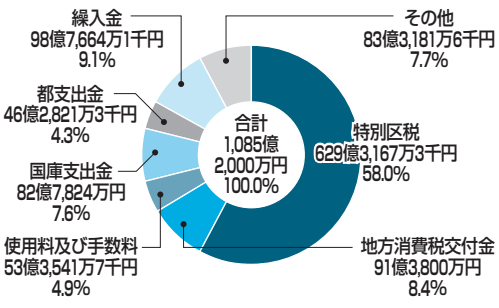


図3　一般会計歳出目的別予算額

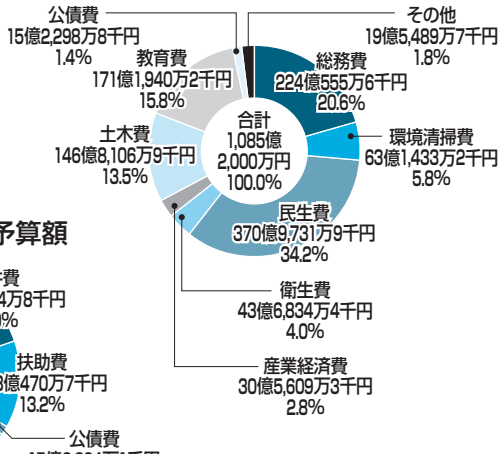
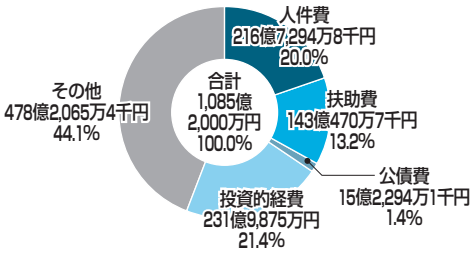


図4　一般会計歳出性質別予算額



※計数については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

平成22年度 最重点施策

新規　22年度から新たに行う事業　臨時(新規)　22年度から新たに行う臨時的な事業(※)
臨時(継続)　21年度以前から行っている臨時的な事業(※)　※単年度または数年度に限り臨時的に行う事業
レベルアップ　21年度以前から行っている事業で内容を充実・拡大する事業

1 安全で安心に暮らせるまち

❶不況に負けない地域経済の支援

企業間連携交流会・分科会　新規
408万円

企業同士又は企業と大学等が連携して製品の共同開発や新技術の開発等を実現するための機会を設けるため、交流会・分科会等を実施します。

新製品・新技術開発支援　新規
1,248万円

企業間交流会・分科会等で結成された共同グループ等に対し、市場性の高い新製品・新技術の研究、試作品製作等にかかる経費を補助することにより、区内中小企業の振興を図ります。

事業承継セミナー　新規
46万円

区内中小企業の経営者を対象に、事業活動を円滑に後継者に引き継げるよう、事業承継をテーマとしたセミナーを開催し、事業承継への早期の取組みの重要性を啓発します。

中小企業事業継続計画等策定支援　新規
110万円

区内中小企業が、災害からの事業への影響を最小限にとどめるための継続すべき中核事業や、損害を受けた事業の早期復旧方法をあらかじめ計画できるよう、事業継続計画(BCP)の策定を支援します。

中小企業ワーク・ライフ・バランス支援　新規
130万円

区内中小企業に対し、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を可能とする就労環境づくりへの取組みの啓発を行います。

商店街事業広告支援　新規
137万円

ちぃばす(港区コミュニティバス)の車内広告スペースに、商店街の情報を載せたポスターを掲出し、商店街の活性化を支援します。

就職面接会参加企業採用助成　臨時(継続)
120万円

緊急不況対策として、区がハローワーク及び東京商工会議所港支部と共催して開催する就職面接会で人材を採用した区内中小企業に対し、研修等の人材育成経費を助成します。

港区ものづくり・商業観光フェアの開催　臨時(継続)
2,741万円

ものづくり、商業、観光の魅力を、参加・体験をとおして紹介する第3回「港区ものづくり・商業観光フェア」(隔年開催)を実行委員会と共催で実施します。

消費者問題推進員の育成　レベルアップ
15万円

消費者カレッジ応用コースの修了者の中から、消費者問題推進員を登録し、地域での消費者問題普及啓発活動を支援します。

産業デザイン活用支援　レベルアップ
1,063万円

区に集積しているデザイン産業のデザイン力を活用し、区内中小企業を支援するため、デザイン活用モデル事業を実施するとともに、販路拡支援システムの構築やデザイナーによる商店街の装飾等を支援する商店街の変身支援事業を実施します。

商工相談　レベルアップ
1,001万円

中小企業の様々な経営課題に対し、的確なアドバイスを行うため、中小企業診断士による出張形式の中小企業経営相談を行っていますが、これに加えて新たにインターネットを利用したEメールによる経営相談を実施します。

融資事業　レベルアップ
20億2,279万円

•緊急支援融資の拡大

緊急不況対策として、21年度に引き続き、信用保証料の全額補助を行うとともに、緊急支援融資の融資限度額と貸付期間を拡大します。

•環境対策融資の拡大

環境対策融資の対象項目に、太陽光発電システム及び高効率空調機にかかる設備資金への融資を追加します。

❷緊急就労支援の充実

緊急不況対策臨時職員雇用(若者向け就業体験)　臨時(継続)
3,445万円

緊急不況対策として、就職の決まっていない若者に就業体験の機会を提供するため、区の臨時職員として雇用し、就職につなげる支援を行います。

福祉のしごと面接・相談会　臨時(新規)
21万円

緊急就労支援として、主に、介護に関する資格を有しながら現在介護現場から離れている潜在的介護人材と、区内介護事業所を対象とした、面接・相談会を開催します。

介護体験事業　臨時(新規)
24万円

緊急就労支援として、介護職の魅力・やりがいの普及啓発を行う介護体験事業を実施するとともに、区内介護事業所の介護人材確保を支援します。

ホームヘルパー2級養成研修受講助成　臨時(継続)
150万円

ホームヘルパー2級資格取得の受講費用の全額助成を、21年度に引き続き実施します。

保護樹木台帳整理　臨時(新規)
235万円

雇用環境が悪化する中、緊急雇用創出事業として、保護樹木の台帳整理等を実施します。

喫煙マナーアップ啓発　臨時(新規)
2,694万円

雇用環境が悪化する中、緊急雇用創出事業として、みなとタバコルールに基づく路上喫煙防止活動を実施します。

遺跡出土遺物の再整理　臨時(新規)
462万円

雇用環境が悪化する中、緊急雇用創出事業として、遺跡出土遺物を再整理します。

❸災害に強い良質なまちづくり

緊急地震速報装置の整備　新規
2,030万円

•緊急地震速報装置の設置助成

地震の発生情報を音声で事前に知らせる緊急地震速報装置(ケーブルテレビ特化型)等の購入及び取付に係る費用の一部を助成します。

•緊急地震速報を活用した雨量・水位の警戒情報及び土砂災害警戒情報の提供

緊急地震速報装置(ケーブルテレビ特化型)を購入した場合、雨量・水位の警戒情報及び土砂災害警戒情報を音声で提供します。

六本木・虎ノ門地区基盤整備等方針策定　臨時(新規)
725万円

六本木・虎ノ門地区における安全で快適な街づくりを適切に誘導するための方針(24年度～)の策定に向けた基礎調査を実施するとともに、方針(案)を作成します。

建築物現況調査　臨時(新規)
669万円

区の高さ制限のあり方を検討するため、区内の既存建築物の高さの現況調査を実施します。

防災街づくり整備指針改定　臨時(新規)
729万円

災害に強い街づくりの実現に向けた目標や方針を定めた防災街づくり整備指針の改定(24年度～)に向けた区民アンケートを実施するとともに、指針(改定案)を作成します。

新規コミュニティバス実証運行　臨時(継続)
3億5,849万円

日常生活の利便性の向上や区民、来街者等の移動手段を確保するため、新規コミュニティバス5路線(芝、麻布、青山、高輪、芝浦港南)の実証運行を実施します。

電線類地中化整備　臨時(継続)
3億5,389万円

街のバリアフリー化、都市防災機能の向上に加え、都市景観の改善を図るため、区道の電線類地中化整備を実施します。

夕凪橋架替　臨時(継続)
1億9,096万円

老朽化が著しく、耐震性に問題がある夕凪橋の架替えに向け、仮設橋(歩行者専用)の設置及び架替えのための詳細設計を実施します。

田町駅東口北地区公共公益施設整備　臨時(継続)
10億3,113万円

既存区有施設の老朽化や芝浦港南地区の人口の急増による施設利用者の増加、多様化する施設需要に対応するため、田町駅東口北地区の公共公益施設の実施設計を行うとともに、建設工事を実施します。

駅周辺滞留者対策訓練の実施 レベルアップ
2,082万円

災害時のターミナル駅周辺の滞留者対策として21年度に引き続き、品川駅周辺での滞留者対策訓練を実施するとともに、新たに他の地区にも拡大します。

高層住宅等の震災対策 レベルアップ
805万円

高層住宅等の震災対策として、自主防災組織の結成や防災計画の策定に向けた支援を実施します。

繁華街の安全対策 レベルアップ
1,700万円

地域の人や団体が協力し、より一層安全で安心なまちを形成するために、六本木地区に続き、新たに赤坂地区で安全・安心の実現に向けた取組みを実施します。

2生涯を通じて健やかにすごせるまち

❶子育て支援と教育環境の充実

子ども手当・児童手当 新規
35億2,627万円

中学校修了前の児童を養育している人に、子ども手当・児童手当を支給をします。

子どもの遊び場づくり 新規
38万円

子どもがのびのびと遊ぶことができる遊び場づくりとして、プレーパークの実施に向けた検討を行います。

小中一貫校の設置等 新規 臨時(継続)
3億4,280万円

▶港陽中学校通学区域小中一貫校の設置【新規】 2億5,602万円

港陽中学校通学区域に、9年間の教育課程を見通した柔軟で効果的な教育を行う小中一貫校を設置します。

▶朝日中学校通学区域小中一貫校建設【臨時・継続】 8,678万円

9年間の教育課程を見通した、柔軟で効果的な教育を行う朝日中学校通学区域小中一貫校建設のための基本計画の策定及び基本設計を実施します。

基本設計では、CO_2の削減を目指し、田町駅東口北地区公共公益施設低炭素化計画における低炭素化手法をモデル的に適用します。

児童遊園整備 臨時(新規)
3,894万円

地域の特性に合った安全で快適な児童遊園を整備します。

•南青山四丁目児童遊園整備

基本計画、基本設計及び実施設計を実施します。

•高輪一丁目児童遊園整備

基本計画、基本設計及び新たに購入した用地内の既存建物の解体工事を実施します。

子ども中高生プラザ等建設 臨時(継続)
15億3,610万円

▶芝地区子ども中高生プラザ等建設【臨時・継続】 5億290万円

浜松町一丁目の旧神明運動広場において、子ども中高生プラザ等の建設工事を実施します。

▶麻布地区子ども中高生プラザ等建設【臨時・継続】 9,281万円

南麻布四丁目用地に、子ども中高生プラザ等を建設するための基本設計及び実施設計を実施します。

▶高輪地区子ども中高生プラザ等建設【臨時・継続】 3億8,706万円

高輪一丁目用地において、子ども中高生プラザ等の建設工事を実施します。

▶芝浦港南地区子ども中高生プラザ等建設【臨時・継続】 5億5,333万円

港南四丁目において、子ども中高生プラザ等の実施設計及び建設工事を実施します。

保育園改築等 臨時(継続)
4,032万円

▶芝公園保育園等改築【臨時・継続】 1,916万円

芝公園保育園等改築のための基本設計及び実施設計を実施します。

▶仮称三田四丁目保育園建設【臨時・継続】 2,116万円

三田四丁目用地に、志田町保育園に替わる新たな保育園を建設するための基本設計及び実施設計を実施します。

待機児童解消特別事業 臨時(継続)
13億3,457万円

急増する認可保育所入園希望に対応するため、緊急暫定保育室を新たに2保育室開設し、緊急暫定保育室を現在の3保育室から5保育室に拡大します。

新教育センター整備 臨時(継続)
2億859万円

区と気象庁との複合施設に整備する新教育センターの体験学習センター展示基本設計を実施するとともに、整備予定地である旧鞆絵小学校の校舎等基礎部分の撤去工事を実施します。

放課後児童健全育成 レベルアップ
1,767万円

芝浦小学校で、放課後児童健全育成事業を新たに実施し、放課後児童健全育成事業を現在の7校から8校に拡大します。

障害児夏季休業日等支援 レベルアップ
651万円

夏季休業日等における障害児の安全・安心な居場所づくりのため、児童館等の利用時間を拡大します。

子育てひろば等事業 レベルアップ
1億2,779万円

港南地域において、子育てひろば等事業を新たに実施します。

中学校特別支援学級運営 レベルアップ
2,835万円

中学校において、安定した居場所の中で、一人ひとりが基礎的・基本的な学力や社会性を身に付けながら、高校進学に向けて一貫した進路指導が行えるよう、中学校に情緒障害特別支援学級(固定学級)を開設します。

❷高齢者や障害者の生活環境の充実

発達支援センター機能検討 新規
234万円

発達支援センター機能の確立に向け、関係機関による連絡協議会を設立するとともに、発達障害を含む障害児を対象とした医師等による巡回相談をモデル園2園(公私立保育園各1園)で実施します。

高次脳機能障害理解促進 新規
65万円

高次脳機能障害への理解促進のための普及啓発イベントを開催するとともに、家族会・当事者会の設立を支援します。

いきいきプラザ移行準備 臨時(新規)
1億444万円

23年度に現福祉会館(芝公園及び新橋を除く。)及び健康福祉館を「いきいきプラザ」に名称変更し、「高齢者のいきがいづくり、学びの場」「介護予防、健康づくりの場」「ふれあい、コミュニティ活動の場」とするのにあわせ、看板工事や内装工事、物品整備等を実施します。

介護事業者連絡協議会支援 臨時(新規)
48万円

介護事業者連絡協議会の立上げ期の運営を支援します。

福祉会館等改築 臨時(継続)
13億6,091万円

▶西麻布福祉会館等改築【臨時・継続】 9,669万円

西麻布福祉会館等の基本設計及び実施設計を実施します。

▶高輪福祉会館等改築【臨時・継続】 12億6,422万円

高輪福祉会館等の工事費を計上するとともに、開設に向けた備品の調達等を行います。

公衆浴場助成 レベルアップ
3,684万円

現在、区内7浴場で実施している児童無料入浴デーの対象を、児童のみから、児童及び同伴する保護者に拡大します。

高齢者等紙おむつ給付 レベルアップ
1億2,931万円

65歳以上でねたきり又は失禁状態にあり、要支援以上の介護認定を受けている人に対し給付している紙おむつについて、40歳以上で同様な状態にある人に拡大します。

介護人材育成支援事業 レベルアップ
646万円

区内介護事業所で働きながら介護福祉士資格取得を目指す人に対し、国家試験の実技試験が免除となる介護技術講習受講費用の一部を助成します。

障害者施設等運営支援 レベルアップ
1,192万円

区内の知的障害者更生施設や知的障害者授産施設に通所する区民が、施設が行う宿泊事業及び外出事業に参加する際の自己負担相当額を補助します。

障害者就労支援 レベルアップ
3,998万円

主に精神障害者の社会復帰に向けた支援の場として、高輪コミュニティーぷらざ1階に福祉売店を設置します。

❸区民の元気と健康の増進

スポーツ振興施策の推進 臨時(新規)
267万円

生涯を通じてスポーツに親しめるよう、区が取組むべきスポーツ振興施策を体系的にとりまとめます。

国民体育大会 臨時(新規)
118万円

第68回国民体育大会(平成25年開催)における「なぎなた競技」開催のための準備作業を実施します。

みなと保健所改築 臨時(継続)
4億575万円

現在の生活衛生センターと保健サービスセンターとを統合し、地域保健の拠点となる新たな保健所の建設工事を実施します。

周産期医療・小児医療連携協議会 臨時(継続)
93万円

区内の周産期医療センターや小児救急の対応が可能な総合病院と、地域の産科・小児科診療所との連携強化に向け、区内産科・小児科医を委員とする協議会を開催します。

在宅緩和ケア支援 臨時(継続)
1,693万円

がん患者及びその家族が住み慣れた地域で在宅療養を受けられるよう、在宅緩和ケア・ホスピスケア支援推進協議会等を開催し、在宅緩和ケア支援に向けたシステムを構築します。

学校プール開放事業 レベルアップ
1億4,550万円

青少年の体力向上、区民の健康づくりや生きがいづくりのため、区立小中学校の屋内プールを新たに2校、通年にわたり一般開放し、学校プール開放事業を現在の5校から7校に拡大します。

3 都心の魅力があふれるまち

❶参画と協働による地域の活性化

芝地区総合支所地域事業
5,202万円

- ▶芝地区福祉カレンダー作成 110万円
- ▶芝地区区立芝公園にぎわい推進 700万円
- ▶芝地区帰宅支援マップ作成 393万円
- ▶芝地区の地域性にあった災害対策 159万円
- ▶芝地区やさしいまちなか 201万円
- ▶芝地区地域ルールづくりの推進 105万円
- ▶芝地区昭和の地域力再発見 1,500万円
- ▶芝地区環境と平和を考え地域の交流を深める事業 484万円
- ▶芝地区魅力発信 547万円
- ▶芝地区バス停を起点とした散策マップの設置 740万円
- ▶芝地区子どものふるさと心の風景記録事業 263万円

麻布地区総合支所地域事業
4,774万円

- ▶麻布地区コミュニティ形成 22万円
- ▶麻布地区麻布フェスタ 691万円
- ▶麻布地区子ども芸術ふれあい事業 248万円
- ▶麻布地区おもちゃライブラリー 96万円
- ▶麻布地区福祉会館等施設情報紙の発行 551万円
- ▶麻布地区災害時セーフティネット構築事業 613万円
- ▶麻布地区安全･安心に特化した公園づくり 300万円
- ▶麻布地区飯倉片町地下横断歩道小学生児童絵画展示事業 58万円
- ▶麻布地区麻布未来写真館 645万円
- ▶麻布地区麻布ものしり認定制度 677万円
- ▶麻布地区国際協働事業 520万円
- ▶麻布地区子育て支援 353万円

赤坂地区総合支所地域事業
5,687万円

- ▶赤坂地区区民とともにつくる魅力ある歩行空間整備 726万円
- ▶赤坂地区企業等連携防災行動計画支援 795万円
- ▶赤坂地区減らそうCO_2～赤坂・青山～ 271万円
- ▶赤坂地区氷川山車復興支援 401万円
- ▶赤坂地区講談を活用した地域情報の発信 212万円
- ▶赤坂地区赤坂・青山子ども中高生共育事業 991万円
- ▶赤坂地区赤坂･青山歴史､文化､芸術のまちづくり 2,292万円

高輪地区総合支所地域事業
5,035万円

- ▶高輪地区施設間等地域交流 269万円
- ▶高輪地区ウッディランドたかなわ 385万円
- ▶高輪地区メールによる区民意向調査 309万円
- ▶高輪地区健康あっぷ！リング高輪 493万円
- ▶高輪地区さくらリバース高輪 284万円
- ▶高輪地区ハイブリッド発電灯ほかの設置 1,524万円
- ▶高輪地区高輪みどりのプロジェクト 359万円
- ▶高輪地区高輪かがやき百景 36万円
- ▶高輪地区電子掲示板「たかなわ瓦版」 521万円
- ▶高輪地区寺町コミュニティ 420万円
- ▶高輪地区白金高輪グリーンミュージックフェスティバル 435万円

芝浦港南地区総合支所地域事業
6,903万円

▶芝浦港南地区歴史と文化の継承【新規】
788万円

芝浦港南地区のこれまでのあゆみの記録を区民参画を得て、発掘・調査・収集し、芝浦港南地区の地域誌として編集します。

▶芝浦港南地区秋田県にかほ市交流事業【新規】
699万円

南極探検隊出航100周年記念イベントを埠頭公園で実施します。また、秋田県にかほ市と小学生交流、住民交流、物産展、展示会等の交流事業を実施します。

▶芝浦港南地区住民交流促進事業【新規】
804万円

芝浦港南地区の足跡を振り返り、未来を描く記念の事業を実施します。

- ▶芝浦港南地区運河・水辺の魅力アップ 687万円
- ▶芝浦港南地区憩いの水辺空間創出 420万円
- ▶芝浦港南地区みどりがつなぐ交流事業 355万円
- ▶芝浦港南地区ベイエリアブランドの創出 465万円
- ▶芝浦港南地区水辺フェスタ 842万円
- ▶芝浦港南地区地区の政策形成プロジェクト 414万円
- ▶芝浦港南地区地域の課題解決プロジェクト 82万円
- ▶芝浦港南地区安心お散歩コースの設置 100万円
- ▶芝浦港南地区子育てあんしんプロジェクト 1,247万円

お台場ふるさとの海づくり 新規
1,091万円

コミュニティ意識の醸成を促すため、お台場海浜公園で地域住民とともにアマモ・海苔の育成等の環境学習や自然体験活動等を実施します。

仮称政策創造研究所の設置 新規
581万円

区の政策形成を支援する新たな仕組みとして、仮称政策創造研究所の設置に向けた検討を行います。

南青山二丁目公共施設建設 臨時(新規)
3,449万円

南青山二丁目用地に建設する公共施設の基本設計及び実施設計を実施します。

高輪地区総合支所エレベーター増設 臨時(新規)
1億5,424万円

23年度に高輪地区子ども中高生プラザの開設が予定されているため、高輪地区総合支所のエレベーターはこれまで以上の利用増加が見込まれます。混雑の解消と待ち時間の短縮のため、高輪コミュニティーぷらざ内にエレベーターを1基増設します。

港区基本計画改定(地区版計画書改定) 臨時(新規)
3,597万円

23年度に予定している港区基本計画・地区版計画書(21～26年度)の後期3年の見直しに向けて、区民参画組織による検討を開始します。

港区基本計画改定 臨時(新規)
1,704万円

23年度に予定している港区基本計画(21～26年度)の後期3年の見直しに向けて、「みなとタウンフォーラム」による検討を開始します。

❷共生による新たな地域文化や魅力の創出

外国人向けウェルカムパックの作成 新規
558万円

区に転入してきた外国人が、日常生活の不安を解消し安心して区内で生活できるよう、行政等情報の案内冊子(ウェルカムパック)を作成し、配布します。

行政情報多言語化の基準策定等 新規
275万円

区刊行物等の行政情報多言語化の基準(ガイドライン)を策定します。また､翻訳に関しての正確性・統一性を確保するため、翻訳業務に必要な標準書を作成するとともに、翻訳チェックを行います。

観光ボランティア育成 新規
99万円

港区に訪れる観光客への観光案内活動を行うボランティアを育成するための講座を実施します。

大使館等連携検討調査 臨時(新規)
563万円

外国大使館等と協力して、地域づくりや地域の課題解決に取組むことができるよう、区内の大使館等が区とどのような連携を希望しているかを調査し、今後の連携の方策等を検討します。

港区観光振興ビジョン策定 臨時(新規)
341万円

新たな港区観光振興ビジョンの策定に向けて、基礎調査を実施するとともに、港区観光振興ビジョン策定委員会を開催します。

観光振興事業 レベルアップ
970万円

広く港区の観光情報を発信することにより観光振興を図るため、新たに、観光情報(名所旧跡、観光スポット、イベント情報等)を掲載した観光情報誌を発行します。

❸都心区における先進的な環境対策の推進

みどりの活動員活動支援 新規
82万円

区民協働によるみどりの保全と創出を推進するため、「みどりの活動員」による緑地の維持管理活動等を支援します。

みなとモデル森林整備促進事業 新規
2,224万円

区内の建築物等における国産材活用を誘導し、国内の森林再生を促進するため、港区独自の二酸化炭素固定認証制度を構築するとともに、木製品の利用促進イベントを開催します。

建築物低炭素化ガイドライン策定 臨時(新規)
380万円

20年度に策定した「田町駅東口北地区公共公益施設低炭素化計画」及び「区有施設環境配慮ガイドライン」において採用した低炭素化技術をもとに、民間開発を低炭素化に誘導するための「建築物低炭素化ガイドライン」を策定します。

カーボン・オフセットイベント普及啓発 臨時(新規)
135万円

エコライフ・フェアから排出されるCO_2の「見える化」体験等をとおして、カーボン・オフセットに参加する意義について啓発を行うとともに、イベント参加者自らがカーボン・オフセットに取組む仕組みを検討します。

有栖川宮記念公園自然環境回復プロジェクト 臨時(継続)
1,722万円

区民とともに有栖川宮記念公園の自然回復に取組み、池の浄化実験を実施します。

田町駅東口北地区公共公益施設等低炭素化計画推進 臨時(継続)
568万円

田町駅東口北地区公共公益施設の整備にあたり20年度に策定した同施設低炭素化計画が効果的に反映されるよう、専門家によるチェックを実施するとともに、同施設低炭素化計画における低炭素化手法を新たに建設する区有施設においてモデル的に適用します。

区有施設省エネルギー化 臨時(継続)
9,038万円

区有施設におけるCO_2排出量を削減するため省エネルギー改修及び新エネルギー導入を実施します。

みなとタバコルール推進 レベルアップ
1,309万円

罰則によらずマナーに訴える、みなとタバコルールの、区民及び来街者に対する普及啓発活動を充実します。

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。白色度75%